

令和8年度
全国学力・学習状況調査
指導方法等の改善計画

呉市立両城中学校
(両城中学校区)

全国平均値との差

	国語	数学
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+5. 0	+5. 0
令和8年度	+5. 1	+5. 0
令和7年度	+5. 7	+7. 7
令和6年度	+3. 9	+4. 5
令和5年度	+5. 2	+1. 0
令和4年度	+3. 0	+8. 6

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎・・・各学校 ◇・・・中学校区

国語 本校 69 % 全国 63.9% 県 64 % 言葉の特徴や使い方 読むこと 書くこと 話すこと・聞くこと 情報の扱い方	重点課題	◎文章を読んで、理解したことに基づいて、自分の考えを書くことに課題がある。(設問4四)【読むこと】(全国平均との差+1.9)(平均正答率40.8%) ◇必要な情報を引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。(設問2四)【書くこと】(全国平均との差-4.9)(平均正答率21.4%)
	改善の方策	◎短い文章を読んで自分の考えをキーワードを使って、文章化できるようにする。 ◇すべての教科で、要旨を押さえ自分の考えを根拠とともに文章で書く指導を行う。
	検証	◎全国学力(設問4四)の類似問題(3学年, 11月)目標60% ◇標準学力調査(全学年, 12月)目標 全国平均との差+3.0
数学 本校 62 % 全国 57.0% 県 57 % 数と式 データの活用 図形 関数	重点課題	◎目的に応じて、表やグラフからデータの傾向を適切に読み取ったり、その内容を表現するために適切な言葉を用いたりすることに課題がある。(設問9(1))【データの活用】(全国平均との差-15.4)(平均正答率30.6%) ◇身のまわりの事象について問題解決するために、必要なデータを判断したり、データを分類整理したり、表やグラフからデータの特徴や傾向を読み取ったりすることに課題がある。(設問4(3))【データの活用】(全国平均との差+3.5)(平均正答率21.4%)
	改善の方策	◎前期では、身のまわりにある数量を分類整理し、簡単な表やグラフを用いて表したり、特徴を読み取ったりする活動を設定する。中・後期では、複数のデータの特徴や傾向を読み取り、表やグラフのどの部分に注目したかを数学的な表現を用いて説明する活動を設定する。 ◇すべての教科でデータを読み取る活動を通して、表のどの部分に着目したかを数学的な表現を用いて説明する活動を取り入れる。
	検証	◎全国学力(設問9(1))の類似問題(第1学年, 2月)目標60% ◇全国学力(設問4(3))(第5・6学年, 12月)目標50%

【来年度に向けて】